

(一財) ベターリビング サステナブル居住研究センター シンポジウム 「住宅ストック 6,000 万戸をどう住みこなすか」の開催について

令和 2 年 2 月 6 日
一般財団法人ベターリビング

高齢化、人口減少が進む中、日本の住宅ストックは 6,200 万戸を超え、そのうち空き家は約 850 万戸、空き家率は 13.6%に及んでいる。老朽化した空き家は地域に悪影響を及ぼし、社会問題化する一方、国富ともいべき住宅ストックが有効に活用される機会を逸している点も見逃せない。今後、世帯数も減少に転ずるなか、構造的に空き家は増加することが避けられない。新築住宅中心の市場から既存住宅活用型市場への転換は必ずしも進んでいない。一方、情報インフラの進展や、自動運転等のモビリティ革命は、時間や場所に縛られない新しい働き方、新しい流通や住宅関連サービスをもたらし、さらには今後の住まいや今後の住宅の使い方に大きな変化をもたらす可能性があると考えられる。「住宅ストック 6,000 万戸をどう住みこなすか」について、事業者の視点、居住者（人間）の視点、技術・空間の視点から考察し、展望するとともに、今後に向けて、共通の理解を深める機会としたい。

【開催日】 2020 年(令和 2 年)3 月 5 日(木) 13:30~16:35(受付開始 13:00)

【会場】 霞ヶ関プラザホール（東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞ヶ関ビル1階）

【参加申込】 下記ページ内の申込フォームより、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

<https://www.cbl.or.jp/info/520.html>

【プログラム】

開会挨拶・趣旨説明	13:30~13:40	主催者	
第 1 部 講演 1	13:40~14:10	「住宅市場の現状と課題」 TOTO 株式会社 代表取締役 会長 張本 邦雄 氏	
	講演 2	14:10~14:40	「人間の本质からみた住まいと暮らし方の未来」 千葉大学 大学院 教授 下村 義弘 氏
	講演 3	14:40~15:10	「ネット空間を含めた空間の利活用」 東洋大学 情報連携学部 学部長 坂村 健 氏
	15:10~15:20	休憩	
第 2 部 パネルディスカッション	15:20~16:30	「住宅ストック 6,000 万戸をどう住みこなすか」 ファシリテーター：首都大学名誉教授 深尾 精一 氏 パネリスト：(第 1 部講演者 3 名)	
閉会挨拶	16:30~16:35	主催者	

*各講演の演題は仮題です。

問い合わせ サステナブル居住研究センター
担当：柴田・折田
電話：03-5211-0585

一般財団法人
B ベターリビング
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2